

龍村 仁 監督作品

SiRiUS
大和市文化創造拠点シリウス

地球交響曲 第八番

出演：梅若玄祥【能楽師】 見市泰男【能面打】 中澤宗幸【ヴァイオリン製作者】 中澤さみ子【ヴァイオリニスト】 畠山重篤【古事記演義・NPO「森は海の恋人」理事長】 畠山 信【三男・NPO「森は海の恋人」副理事長】 柿坂神酒之祐【天河神社宮司】
声の出演：榎本孝明 | 木内みどり | 監督・脚本：龍村 仁 | 撮影：赤平 勉 | 制作プロデューサー：恩田映三 | 企画製作・配給：龍村仁事務所、配給協力：太秦

宇宙の音が聴こえますか
Can you sense the call from the Universe?

畏れと美と智恵と勇気と
Fear Beauty Wisdom and Bravery

GAIA SYMPHONY No.8

2016年 | 日本映画 | カラー | 115分 | 特別上映：株式会社シーエス | 社団法人三世帯生活文化研究所 | 株式会社シーボン | 株式会社四季工房 | 日能研 | 日本アムウェイ合同会社 | 明治神宮 | 矢嶋製菓株式会社
© Jin Tatsumura Office Inc.

2019年11月4日(月・振休) 10:30上映
(10:00開場)

大和市文化創造拠点 シリウス
1階 芸術文化ホール サブホール

ゲスト：山本孝司(大和天満宮 宮司)

※上映に先立ち10分程度、神楽についてお話がございます。

料金：500円(全席指定 / 税込)

※未就学児の入場はご遠慮ください。

※車椅子での鑑賞をご希望の方はお申し出ください。

チケット発売日 2019年7月5日(金) 10:00～

チケット
取扱い

- やまと芸術文化ホール チケットデスク
- ネット予約：<https://www.yamato-bunka.jp/hall>
- 電話予約：046-263-3806(9:00～20:00)
- 窓口販売：1階ホール事務室(9:00～20:00)

※チケットは予約日を含め8日以内にお引取りください。
※手数料はお客様のご負担となります。
※上映日8日前から予約されたチケットは、上映日前日までにお引取りください。
※上映中止を除く、予約後のチケットの変更・取消、ならびに購入後のチケットの変更・払い戻しはできません。

主催 / やまとみらい(大和市文化創造拠点 指定管理者)

お問合せ：やまと芸術文化ホール チケットデスク 046-263-3806(9:00～20:00)

龍村 仁 監督作品

地球交響曲 第八番

私達日本人の身体の中には遥か縄文の昔から1万年近くに渡って聴き続けて来た樹の精霊の歌声が、かすかな残響波となって今も響き続けています。

世界の人々が称賛する日本の伝統文化の美は樹の精霊との出会いによって生まれ、洗練されて来た、と言えるでしょう。

東日本大震災から4年、人智を遥かに越えた宇宙的な力に依ってもたらされた崩壊と苦難から立ち直り、真の復活を遂げる為に、私達日本人は今、何に気づき、何を成さなければならぬのか。

「樹の精霊の声、すなわち宇宙の声を聴く力を甦えさせなければならぬ」と気づいた日本人たちがいます。

「地球交響曲第八番」では、この人々の想いと活動を世界に向けて発信します。

地球の未来の全ての生命が健やかに、未永く生き続けることを願って。



木にひそむ音楽、海に眠る荒ぶる神、
火に甦る太古からのときめき、
いのちを畏れ尊ぶ神話的な感情が、
ヒトと自然とのかわりを繰り返して更新することを、
この映画は美しい映像で教えてくれる。

谷川俊太郎 (詩人)

たくさんの木の声を聞ける人達に会って来て思い当たったことがある。
木は共に生きる友人として、人間を選んだのではないだろうか。
少し乱暴で浅はかだが、人間たちは時間を考察し、命を考えることができる。
確かに、人間達は建物にして千年の命を延ばし、叩き共鳴し樂を奏で、
形にして命を再現させることが出来る。選んだのは彼等だ。

塩野米松 (作家)

【チケットの取り扱い】

◎やまと芸術文化ホール チケットデスク

- ネット予約 <https://www.yamato-bunka.jp/hall>
お支払方法:セブン-イレブン店頭(現金またはクレジットカード)
- 電話予約 046-263-3806 (9:00~20:00)
お支払方法:①1階ホール事務室(現金のみ)
②セブン-イレブン店頭(現金またはクレジットカード)
- 窓口販売 1階ホール事務室(9:00~20:00) * 現金のみ

《やまと芸術文化ホール 友の会募集中》

- 入会費・年会費無料 ● 特典:チケット先行販売など
- 詳細はホームページをご覧ください。 <https://yamato-bunka.jp/hall/members.php>



樹の精霊に 出会う



梅若玄祥
能楽師・人間国宝



見市泰男
能面打



柿坂神酒之祐
天河大辨財天社宮司

奈良県吉野にある天河大辨財天社の宝物庫に600年間眠り続けてきた能面「阿古父尉」に訪れた復活の時。親世流能楽師三代目元雅によって奉納された能面の写しが現世に蘇り、演者に乗り移った「宇宙の意志」は、時空を越えた幽玄の世界へ人々を誘ってゆく。

樹の精霊の 声を聴く



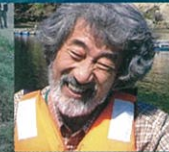
中澤宗幸
ヴァイオリン製作者



中澤きみ子
ヴァイオリニスト

「ストラディヴァリウスは単なる楽器ではない、魂を宿した有機体・すなわち生き物。魂=樹の精霊は、歴代の名演奏家達が奏でた音魂を記憶し続けている。」と語る中澤宗幸は、東日本大震災の津波で流された楓や松を用いて「津波ヴァイオリン」を製作。ヴァイオリンの響きが奏でる「樹の精霊の声」に耳を傾ける。

心に樹を植える



畠山重篤
カキ養殖業
NPO「森は海の恋人」理事長



畠山 信
三男
NPO「森は海の恋人」副理事長

海の汚れの原因が森の荒廃にあると気付いた畠山重篤は植林運動を展開。気仙沼の海は青さを取り戻していたが、津波によりカキは全滅。4年に一度の室根神社の大祭で大役を担った彼の「魂」の復活と「海」の復活を描く。

山と海はつながっている。
森と水は兄弟である。
樹木は音と舞と神様を秘めている。

松岡正剛 (編集工学研究所所長)

樹々との聞きあいの中で、人類の叡智を結集したこの壮大な交響曲。
それは何も言わず、ただ観ていただきたいと思う。龍村監督の心に共感する。
ベートーヴェンの第九交響曲に匹敵する龍村仁の第九交響曲を心から待ち望んでいます。

小林研一郎 (指揮者)

2011年、東日本大震災が起り、日本中が動転するような事態を招いたが、まさにこういう時代にこそ「地球交響曲」が必要とされるのではないかと、自然が尊いのは生命をつなげていくからで、一本の樹木が姿を消したとしても、そのまま生を終えることはない。そうした鎮魂の思いをこめてつくられた第八番の完成を心から祝福したい。

植島啓司 (宗教人類学者)



※駐車場の収容台数には限りがございます。公共交通機関でのご来場をお願いいたします。

小田急江ノ島線・相鉄本線 大和駅から徒歩3分

大和市文化創造拠点 シリウス

〒242-0016神奈川県大和市大和南一丁目8番1号
<https://www.yamato-bunka.jp/>